



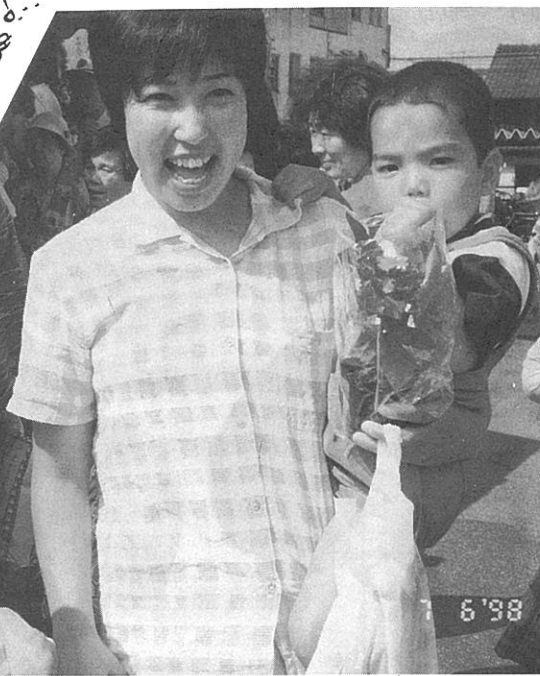
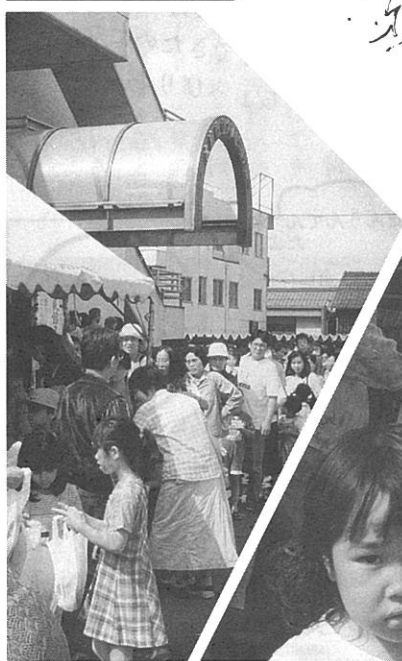
平成10年
6月6日・7日

笑顔いっぱい
花いっぱい

環境部会より
メランポジウム
無料で
配布されました。

500鉢

大府公民館
まつり
開催



ふれあい

大府コミュニティ会より

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局
大府公民館
TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

公民館まつりに
『ふれあい』を求めて

大府コミュニティ会長 加藤金松

「出あい、語らい、ふるさと文化の創造と、ふれあいを高めよう」のタイトルのもと、六月六日(出)、七日(日)の両日、大府公民館において公民館まつりが行われました。

梅雨の時期とはいえ、両日共に曇り空で絶好の日和となり、大勢の来館者で活気に満ちた会場となりました。

日頃、公民館を利用する各種団体の展示が行われている中、私たち大府コミュニティも多くの人々との「ふれあい」を求めて積極的に各種行事に参加しました。

導で二〇〇名が参加

家庭教育部会Ⅱ大会議室にてマジックショーを開催

環境部会Ⅱ花いっぱい運動でメランポジウム五百鉢を無料配布

健康部会Ⅱ大会議室にて子どもギネス大会を実施、一五〇名参加

文化福祉部会Ⅱ大会議室にてカラオケ大会を実施、二十九名が熱唱

交通安全部会Ⅱ駐車場にてゴーカートによる交通安全指導

調査広報部会Ⅱコミュニティ参加行事の取材と記録写真撮影

役員Ⅱ有機野菜・花の苗の販売



子供ギネス大会 健康部会

優勝者

	高 学 年	低 学 年
かかし	福井 孝幸(4) 敷地屋理恵(5)	小川みな美(3)
なわとび	伊藤まゆみ(5)	ごとうしのり(2)
フープまわし	佐々木紀恵(4) 浅田 美佐(5)	天野 貴正(3)
新聞ちぎり	鷹羽 麻理(5)	橋本 勇輝(3)
ビー玉つなみ	鷹羽 望(4)	近藤 拓美(3)

(カッコ内は学年)



もっと回したかったな 大府小4年 佐々木 紀恵

「はじめ!!」
と言われてフラフープを回しはじめた。
ともだちは、つぎつぎ落ちていく。
ともだちが、落ちていくのを見て、
「ふっふっふっつぎつぎ落ちていく...」
わたしは、すごいだろう
と思いました。だんだんつかれてきて、
こしがいたくなってやめようかと思っ
たけど、記録をだそうと思って、やり
つづけました。
わたしがやっているとき、ともだち
はまわっていてくれました。わたしは、
「さきいつていいよ」といいました。
「いい」っていったから、ともだちを8
分もまたせちやった。
「ビー、終わり」といったからわたし
はフラフープを、手で「パシッ」とと
めました。もっとできたのになー」と
思いました。ちょっぴりさんねん。



カラオケの
集い

文化福祉部会

あんぜんうんてん
だよ

ゴーカート

交通防犯部会



楽しんでくれたかな?

藤田 あつ子

さあ今から不思議なことが始まりま
すよ。真剣な顔、じっと見ている顔、
むづかしそうな顔々。そんな表情を見
ながらマジックをしています。私はオ
ープニングで少し緊張。リズムカルな
曲にのって楽しそうにやっている様
に見えるかもしれませんが、胸はドキ
ドキ失敗したら困るなあと思ひ演技
をしています。毎年行ってますが現
代の子ども達はテレビ、ゲームで過ご
す時間が多く無感動、無表情の子が多
いです。そんな子ども達に見てもらって
マジックあそびにも参加してもらって
夢と感動を与え、楽しんでもらえたら
と願って行ってます。来年は大人の
あそびを用意し、家族と楽しんでもら
うよう計画したいです。私も年令に似
あわず派手な衣装でサーブिस精神を出
して、ほんのわずかな時間ですが共に
楽しみたいです。



家庭教育部会

マジックショー

大府小学校区地域ネットワークだより

6月5日 地域ネットワーク連絡会を開催

地域のムードづくりを
ネットワークで

大府小学校区地域ネットワークが誕生して三年目、今年も6月5日に連絡会（総会）を開き、今年の取り組みの方針などについて確認しました。このネットワークは、四つの団体の連携を目的につくられましたが、実際には大府小学校・大府中学校・両学校のPTA・民生児童委員・大府コミュニティの六つの団体が参加しています。これだけの団体が地域ネットワークとして連携している校区はほかになく、大府小学校区地域ネットワークが最も進んでいると言えます。

この地域ネットワークは、子どもたちのための情報を収集し、その情報を再度各団体に戻し、それぞれの団体で役立てていくことを目的にしています。昨年度の一年間でもいくつかの情報が寄せられ、特に学校での指導に役立てられています。しかし、本年度の連絡会の話し合いの中で、この地域ネットワークで何かほかのことができないだろうかという意見が出されました。設立から二年たった今、地域ネットワー

クの在り方を再検討していく必要があるかもしれません。

まだまだ問題解決をする組織になれるほどの体力は備っていませんが、そんな中で考えられるのが、地域ネットワークが新たな情報発信源になれるかということです。現代は価値感が多様化しています。地域の活動に対して様々な意見を聞きます。学校でも、保護者の考え方が様々で、その対応に苦慮することもあります。子どもにどう育ってほしいかという親の考えは、それぞれ違います。それをそろえることはできません。しかし、地域でこんなふう子どもたちに育っていったらいい、そのために地域はこんなふうにしていくというムードづくりはできるような気がします。大府小学校区地域ネットワークが、情報を集めるだけにとどまらず、地域のムードづくりのための新たな情報の発信源になれるよう、今後の取り組み方を検討していきたいと思っています。

健康部会

だより

コミュニティ運動会

第二十五回大府コミュニティ運動会は、五月十七日当日、そして五月二十四日予備日共雨天となり残念ながら中止とさせていただきます。役員の皆様、

そしてブロック長、各組長の方々、事前の準備等ご苦勞様でした。今年度の反省を生かし来年も楽しい運動会を企画していきますのでよろしくお願い致します。

さて、気軽に運動する機会としてグランドゴルフ大会をどなたでも参加できるよう一般公募します。グランドゴルフはとても簡単で楽しい競技です。ぜひご家族、友人誘い合って参加して下さい。くわしくは左記の「参加募集」をご覧ください。

グランドゴルフ参加者募集

◎開催日 8月29日(土) 8:30(集合)

◎開催場所 市営横根グランド

◎開催時間 開始9:00～12:00(終了予定)

◎募集人数 80人 先着順で締め切ります。
(※小学校4年生以上)

◎申し込み方法 大府公民館にて受付ます

◎募集締め切り 8月11日(火)

◎参加費 無料

賞品を多数用意しておまちしています。
ご家族での参加大歓迎 !!

おのこの人

趣味にノボランティアにノ輝く女性

笹田 照子 さん

―若草町―

コーラス「なしの木」に所属し、仲間とのハーモニを楽しみ、読書クラブ「ぶどうの会」では、毎月、仲間と本の感想を交えることを楽しむ。「これを取り上げられたら、淋しいわ。」と、にこやかに話される女性。今回は、そんな笑顔のすてきな女性、笹田照子さんにお話をうかがいました。

現在、笹田さんは、県身体障害者相談員、知多五市五町身体障害者女性部代表など、いろいろな役職を持ち、いろいろな場所、いろいろな仲間とまぐるしく活躍されています。

笹田さんは、一才の頃小児マヒにかかりました。ご両親の励ましと、ご本人の努力で、かなり回復されましたが、現在も右腕に、障害が残っています。

ご自分の障害のことを明るくサラッと話される笹田さんですが、いろいろな苦難の道を歩いてこられました。小中学校時代は、回りの人に障害を隠そうと隠そうとし、いじめにも合いました。しかし、小五の時の先生は、病気を理解し、放課後にピアノを教えて下さり、簡単な曲が弾けるまでになりました。

た。高校に入ってから、みずから「これではダメだ」と気づき、思いきって友達に障害のことを話してみたら、とても気が楽になり、しだいに性格も明るく積極的になり、「健常者に負けないくらいがんばろう」と、決心されました。

それからは、まわりの人たちのあたたかい応援と、時にはきびしい指導のもと、いろいろなことに挑戦されました。右手指の機能は残っており、糸と針を持つことができたため、「私は、洋服で身をたてよう」とも思われたそうです。

その後、ご主人と出会って、家庭を築いていく中で、「障害者は、みんなにいろいろな所で助けられている。だから自分なりでできるこ

とでお返しをしたい」と、強く思われるようになったそうです。

それからは、いろいろな障害者の会に、積極的に参加され、「からだの障害はしかたがないけれど、心の障害者にはならないように」と、みんなに訴え続けています。また、市内の小・中・高校での福祉実践教室では、ご自分のことを明るくありのままに話され、障害者の相談にも、前向きにアドバイスをしています。

こんな多忙な日々を送っているにもかかわらず、お話をされている時の表情は、じつにいきいきと輝いていて、終始圧倒されっぱなしでした。では、笹田さんのどこから、そんなパワーがでてくるのか、そのパワーの源はどこにあるのか。強い精神力で障害を克服し、社会の多くの行事に参加すること。きつとその充実感・達成感が、大きな自信となって、次への活力となってい



るのでしょうか。そして、一番のよき理解者であるご主人が、いつもそばであたたかく見守っていてくださるからでしょう。

「社会が福祉を重視する傾向にある今だからこそ、障害者ももっと健常者に近づき、追い越せるようになれば」と、しっかりと前を見つめておっしゃる笹田さん。

「私も何かしてみよう」と少しパワーを分けていただいたような気がしました。これからのますますのご活躍を期待しています。

IKI



あとがき、

天気を狂わすエルニーニョのいたずらか、コミュニケーション運動会のない新年度スタートとなりました。その分、サッカーワールドカップにあつい声援を送ったのですが……。

さて、ふれあい夏の号、今回は、公民館まつりを中心にお届けしました。ふるさとの思い出づくりに、次はぜひ夏まつりをお楽しみください。

IMI